



区民の負担増は深刻 悪政からの「防波堤」に!

守れ!
区民生活

負担激増!

原田あきら区議は、毎年度引き上がる重税負担増の実態を告発(右表)。
杉並区が住民の深刻な生活実態を直視し、負担増の「押し付け」でなく「負担軽減」に向けた対策を実施するよう求めました。

負担増の実態を告発

治体の責務ですが、現在の杉並区政は区民生活を守るどころか、悪政推進の姿勢です。日本共産党は、杉並区政の転換を求め、論戦に臨みました。



原田あきら区議

安倍政権が進める社会保障の大改悪が区民生活にも深刻な影響を与えています。本来であれば、国の悪政から住民生活を守るのが、地方自治体の責務ですが、現在の杉並区政は区民生活を守るどころか、悪政推進の姿勢です。日本共産党は、杉並区政の転換を求め、論戦に臨みました。

世帯	2010年度 ⇒ 2017年度	8年間の負担増
40歳夫婦と子ども1人 年収400万円の世帯	848,712円 ⇒ 1,195,963円	+ 347,251円
40歳夫婦と子ども2人 年収400万円の世帯	791,867円 ⇒ 1,238,463円	+ 446,596円
75歳夫婦 年金収入 240万円の2人世帯	352,130円 ⇒ 449,200円	+ 97,070円

※40歳夫婦の「税と保険料の負担額」は所得税・住民税・国民健康保険料・年金保険料・消費税の主要5負担の合計。消費税額は税率5%で12万円、8%で19万円と仮定。

※75歳夫婦の「税と保険料の負担額」は所得税・住民税・後期高齢者医療保険料・介護保険料・消費税の主要5負担の合計。

保育士不足は深刻 処遇改善策を

**保育の質
確保を**

認可保育所の大規模整備により新規開設園は19園に上り(公設民営園等を除く)必要な保育士数は300名を超えています。「保育の質」を確保する上でも保育士確保は最重要の課題です。

党区議団の調査(3月上旬)では、既に保育士を充足した新設園は僅かであり、ほとんどの園で保育士募集をかけていることが明らかとなりました(表)。

保育士確保のため、速やかに保育士の処遇改善策等の拡充が必要であり、他自治体の先進事例も踏まえた緊急対策を求めました。

数名募集	2園
2~3名募集	2園
1~2名募集	5園
若干名、募集中	6園
充足済み(募集なし)	3園

※新規開設園19園中18園を調査

新年度も... 国保料値上げ 平均8039円

**保険料負担
値下げを**

くすやま美紀区議は、区民の切実な声を取り上げ、新年度の保険料値上げを中止し、区独自の負担軽減に取り組みよう求めました。しかし、区は区民の暮らしの実態に寄り添う姿勢を示さず、さらなる値上げを必要とする姿勢に終始しました。



くすやま美紀区議

区民の命と健康を守るために、杉並区独自の国保料減免制度の拡充に全力をあげます。

国民健康保険料は、毎年値上げされてきました。新年度も一人当たり平均8039円の値上げとなり、過去5

これ以上の負担はムリ!
払える額に引き下げを

消費増税の税収増

28年度55億・29年度53億(予定)

大部分が

貯め込みに...

国民への裏切り
消費税が5%から8%へ引き上げられた際、国は増税分を全額社会保障に回すとしていました。しかし、結局は大企業等の減税分の穴埋めに回されているのが実態です。
杉並区では、消費増税により毎年度の税収が55億円程度増加しています。しかし、消費税の増額分だけ、社会保障分野の予算が増えたわけではなく、帳簿上、社会保障関連事業に一律の割合で充当したことにされ、財源が置き換えられただけです。
消費税の増税分を、全額社会保障財源に充てるとした国民との約束を裏切るものです。

負担軽減に活用すべき

金子けんたろう区議は、消費税増税は低所得者ほど負担割合が重くなり住民生活に影響を落としていると指摘。一方、区が「消費増税により繰入金や区債の発行を抑えることが出来る」とし、財政指標を良く見せるため、全額を社会保障財源に活用していない問題点を告発。

消費増税による税収全額を介護保険料や国保料の引き下げなど、区民負担の軽減に使用するよう求めました。

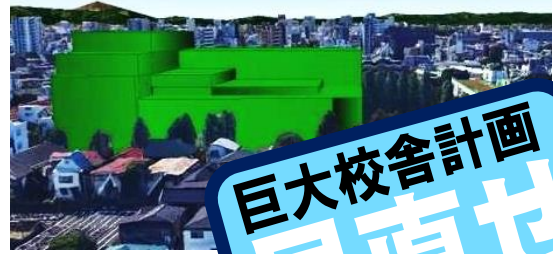
**全額、社会保障に
使え!**



金子けんたろう区議

区民の声を反映する区政を目指して

高円寺地域の学校統廃合により
住宅街に巨大校舎を建設予定



**巨大校舎計画
見直せ**

田中区政 まち壊し加速

**区民の声を
聞け!**

住民参画の保障を

田中区政の強権的な区政運営が深刻化しています。この間の区立施設再編整備計画では、区民の財産でもある区立施設を次々と削減・縮小しています。

昨年、子ども達の利用頻度の高い公園を問答無用で奪い、保育所に転用。突如、示された区立保育園民営化方針では、児童や保護者の声を聞くことなく計画を決定し、大きな不安と怒りの声が上がっています。

この間の計画は区民無視で策定されており、区民との対話を深める姿勢が一切ありません。「区民の区政参画の必要性」を明確に謳った杉並区自治基本条例に反する区政運営です。



山田耕平区議

党区議団の代表質問では、山田耕平区議が田中区長の区政運営の問題点を指摘、区民無視の計画強行を止めるよう質しました。

ずさんな計画の見直しを

高円寺地域で進められる小中一貫教育校の整備計画は、小学校2校・中学校1校を統廃合するため、住宅街に高さ約30m、横幅約70mの超巨大校舎が整備されることとなります。

この間、計画地の地盤調査結果報告の誤記載や東京都への建築確認不備等、手続き上の重大問題が発覚しています。ずさんな計画進行と共に、近隣の住環境に重大な影響を及ぼす計画に対し、住民は連日、抗議行動を行な



富田たく区議

う事態となっています。富田たく区議は計画の進行管理の問題点を指摘し、計画を見直し住民と協議を尽くすよう求めました。



上保まさたけ区議

住民の文化活動やスポーツ振興に責任を負う自治体として使用料割引制度の復活等、使用料引き下げを求めました。

区内の各団体からの聞き取り調査をもとに、使用料値上げの深刻な実態を紹介。上保まさたけ区議は、区内の各団体からの聞き取り調査をもとに、使用料値上げの深刻な実態を紹介。

**使用料割引
復活を**

区内団体に大きな打撃

区立施設の使用料について、本年4月から登録団体割引制度が完全廃止となります。2014年度から使用料の値上げが始まり、登録団体割引制度が段階的に縮小され、区内の多くの団体が活動困難な状態に追い込まれました。

- 30名の保育定員枠を削り
- 区内の競技人口不明…
- 海も無いのに常設・国際規格
- 噂の東京マガジンでも報道

**不要・不急
撤回を**

ビーチバレーコート 賛成多数で強行!!



永福南小跡地にビーチバレーコートを整備するための契約議案が上程され、賛成多数で強行されました。今計画はTBS「噂の東京マガジン」でも問題を指摘されていたものです。

「なぜ、海もない杉並区にビーチコートなのか?」「保育園用地が足りないのに、ビーチコートは整備するのか?」等、区民から疑問と怒りの声が寄せられています。

ビーチコートを整備しなければ、30名程度の保育定員枠を新たに確保することも可能でしたが、区は計画に固執。その理由として、杉並区議会スポーツ振興議員連盟(自民、公明、未来、平和、自無等の各会派議員らが賛同)の要望も受け、整備を進めるとしています。

区民の声を受け止めることなく、不要不急のビーチバレーコート整備を進めることに道理はありません。計画を後押しし、議案に賛成した区議会各会派・議員の責任が厳しく問われます。

※党区議団を含む反対議員10名が記名投票を要求。杉並区議会本会議録画継中継(3月16日)で投票の様子をご覧になれます。

関連議案への各会派の賛否

会派	自民	公明	未来	共産	平和	自無	杉わ	共生	美杉	無	無木
賛否	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	×

47名中、賛成37名、反対10名。※議長は採決に不参加

**豊かな財政力は
区民生活に!**

**現在480億円に到達
貯め込みの活用を!**

550億円の財政のダム構築に向けた基金積み立てが着々と進められ、既に480億円に達しています。杉並区の財政力の豊かさや健全性が示される一方、その財政力に応じた区民福祉向上の施策が展開されているとは言えません。

過大な貯め込み方針を改め、区民福祉の向上に活用すべきです。

**日本共産党の
提案!**